

平成25年7月26日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則
 (J A S D A Q ・ コ ー ド : 6 6 6 3)

問 合 せ 先

取 締 役 管 理 本 部 長 阪 口 豊 彦
 兼 経 営 企 画 部 長
 電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

平成25年12月期 第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成25年2月1日付当社「平成24年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成25年12月期(平成24年12月21日～平成25年12月20日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成24年12月21日～平成25年6月20日)

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	四 半 期 純 損 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	2,070	△65	△67	△84	△14.39
今 回 修 正 (B)	1,865	△88	△79	△80	△13.74
増 減 額 (B - A)	△205	△23	△11	3	-
増 減 率 (%)	△9.9	-	-	-	-
ご参考：前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	1,876	△72	△58	△69	△11.84

(2) 通期(平成24年12月21日～平成25年12月20日)

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	当 期 純 損 益	1 株 当 たり 当 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	5,033	51	44	16	2.82
今 回 修 正 (B)	4,228	△73	△57	△70	△12.11
増 減 額 (B - A)	△804	△124	△101	△87	-
増 減 率 (%)	△16.0	-	-	-	-
ご参考：前期実績 (平成24年12月期)	3,765	△166	△136	△184	△31.57

2. 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成24年12月21日～平成25年6月20日)

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	四 半 期 純 損 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 損 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	1,969	△83	△82	△94	△16.17
今 回 修 正 (B)	1,837	△79	△44	△46	△7.95
増 減 額 (B - A)	△132	4	38	48	-
増 減 率 (%)	△6.7	-	-	-	-
ご参考：前期第2四半期実績 (平成24年12月期第2四半期)	1,774	△69	△53	△70	△12.05

(2) 通期（平成24年12月21日～平成25年12月20日）

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,850	26	19	0	0.05
今回修正 (B)	4,071	△24	△3	△15	△2.71
増減額 (B-A)	△779	△50	△23	△16	—
増減率 (%)	△16.1	—	—	—	—
ご参考：前期実績 (平成24年12月期)	3,611	△133	△123	△185	△31.79

3. 修正理由

第2四半期累計期間連結業績予想については、電子基板事業においてFPC試作の国内需要の低迷や新たな取り組みによる電子基板の量産受注等を当初想定していたほど獲得できなかったこと、及び検査システム事業において主要顧客における設備投資抑制により、受注が計画どおり進展しなかったこと等から、売上高は当初予想を205百万円下回る1,865百万円（前年同四半期比0.6%減）となる見込みであります。損益については、上述のとおり受注が計画どおり進展しなかったことに伴う売上総利益の減少等の影響により、営業損益は当初予想より23百万円悪化の88百万円の営業損失（前年同四半期は72百万円の営業損失）、経常損益は当初予想より11百万円悪化の79百万円の経常損失（同58百万円の経常損失）、四半期純損益は当初予想より3百万円縮小の80百万円の四半期純損失（同69百万円の四半期純損失）となる見込みであります。

通期連結業績予想については、中国を含む新興国経済の減速等から、先行きは依然として厳しい状況を想定しております。電子基板事業においては、電子基板の量産受注等計画の見直し、基板検査機事業及び検査システム事業においては、競合他社との厳しい受注獲得競争による受注計画の見直し、加えて、各事業の第2四半期累計期間の業績の状況を踏まえ、売上高は当初予想を804百万円下回る4,228百万円（前年同期比12.3%増）、営業損益は当初予想より124百万円悪化の73百万円の営業損失（前年同期は166百万円の営業損失）、経常損益は当初予想より101百万円悪化の57百万円の経常損失（同136百万円の経常損失）、当期純損益は当初予想より87百万円悪化の70百万円の当期純損失（同184百万円の当期純損失）となる見込みであります。

第2四半期累計期間個別業績予想については、電子基板事業における売上高減少等の理由により、売上高は当初予想を132百万円下回る1,837百万円（前年同四半期比3.6%増）となる見込みであります。損益については、上述のとおり売上高減少等の影響はあったものの、基板検査機事業において当初の想定より利益率の高い製品の売上計上ができたこと等から、営業損益は当初予想より4百万円縮小の79百万円の営業損失（前年同四半期は69百万円の営業損失）、経常損益及び四半期純損益については、関係会社への貸付金に対し、貸付先の財政状態及び経営成績等を精査した結果、貸倒引当金の戻入を計上することとなったこと等から、経常損益は当初予想より38百万円縮小の44百万円の経常損失（同53百万円の経常損失）、四半期純損益は当初予想より48百万円縮小の46百万円の四半期純損失（同70百万円の四半期純損失）となる見込みであります。

通期個別業績予想については、概ね通期連結業績予想と同様の理由により、当初予想と比較して売上高については下回り、損益については悪化を見込んでおります。

4. 平成25年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、平成25年2月1日付当社「平成24年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上